

タイトル「生徒たちと笑おう・学校と学ぼう・保護者と創ろう」

NIPPA HIGH SCHOOL ParentTeacherAssociation 今だからこそ！できることを」

学校名 神奈川県立新羽高等学校 PTA

研究テーマ 「PTA とは？PTA の意義とこれからを考え、伝え、対応していくにはどうすべきか」

みなさんこんにちは。新羽高校 PTA です。

[新羽高校の紹介]

新羽高校は隣接する地域に幼稚園・小学校・中学校があり、その全てが『新羽』と入るとても地域特性が強い学校です。



[新羽高校と地域の関わり]

コロナ以前は、地域の夏祭りなどでも高校放送部がアナウンス協力・吹奏楽部が演奏披露・PTA が屋台で出店と交流があり、また高校ボランティア部が小学校のキッズクラブへ手品を披露しに行ったり、子どもたちと遊ぶお手伝いをしに行ったりとあったのですが…コロナによって全て自粛となりこの数年大きな交流が持てずにいましたが、今年度は久しぶりに夏祭りが開催し、その中で高校ダンス部の発表をする事ができました。コロナでいったん途切れてしまった地域との交流…これからまた、新しい形で繋がりが復活できればと思います。



今年度新羽サマーフェスティバルに約 50 名のダンス部員参加★

[PTA の今までと PTA 紹介紙作成へ]

こんな新羽高校ですが、コロナ前、5年前まではPTAもクラスごとに何人、決まるまでは帰れない！くじでも決める！という入学式役員決めが踏襲されていました。やってみたら子どもたちのためになっていい経験だった！という言葉で卒業していく委員さんも多いですが、くじ引きなどで嫌な思いをした方もいたと思います。

そこで当時 5 年前の本部役員さんたちと、もっと気軽に、出来たら楽しんで PTA をやってもらいたいよね！まずは新羽高校の PTA を知ってもらおうと PTA 紹介紙を作成しました。



最初の PTA 紹介紙は両面刷りの活動を伝える最小限のものでした

[PTA とは？紹介紙で伝えたいこと]

PTA 紹介紙を作成するときに、新羽高校としてこういう PTA にしていきたいという思いを込めて決めたキャッチフレーズが『生徒たちと笑おう・学校と学ぼう・保護者と創ろう』という言葉です。

PTA って誰のため？と聞かれたらまずは『生徒たちのため！』ではないでしょうか？生徒たちの学校生活がいかに良くなるか、楽しい思い出をいっぱい作ってほしい！この思いで皆さんも PTA にご参加いただいているのではないのでしょうか？！

そして次に PTA の T は先生です！でも在籍人数も

多くなり、学校との距離も遠くなる高校では、なかなか先生方と話をしたり、学校の状況が見えにくいものです。けれど PTA として学校へ行ったり、委員さん同士の交流の中で、今学校がどういった方針なのか、どんな先生方がいるのかといったことが、格段に分かるようになります。

P だけでなく T だけでなく PT が一緒になって取り組む、共に学んでよりよくしていくこと、これこそ高校 PTA です！

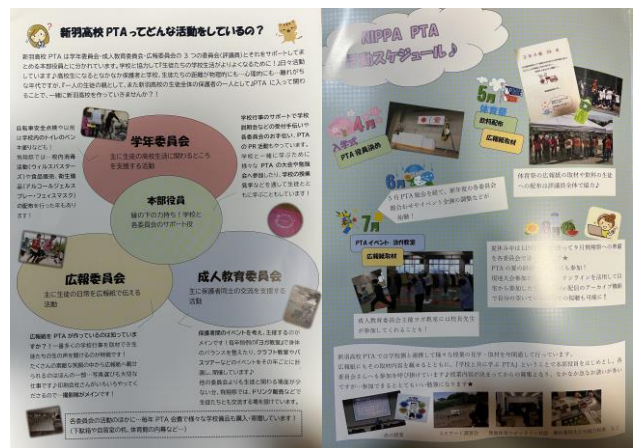
最後に、PTA の A の Association！この単語は自発的に作っていく集団という意味です。この自発的に！というところが PTA という組織でついつい忘れがちになってしまいますが…集団で、また自発的に！という意味もこめて、何より PTA は参加する人自身も楽しめるようにこの『保護者と創ろう』というフレーズも最後に入れました。

このような思いで作成し始めた PTA 紹介紙も、どうやったらもっと身近に PTA を感じてもらえるかと改定を重ねて…今年度まで取り組んでいます。

[PTA 紹介紙を使った委員募集]

この PTA 紹介紙を合格者宛の書類に入れて、昨年度、今年度入学した保護者へは、入学手続き時にその場でお一人ずつ、PTA 勧誘を行うようにしました！そして今年度はお声がけだけで、ある程度の人数を確保することができ、入学式での役員決めという場をなくしました。もちろん入学予定者説明会、入学式には PTA へのご理解とご協力のお願いと、お気持ちがある方はまだまだ募集中です！との話をすることは継続して行っています。

まだなかなか実際にやってみるとお引き受けいただいたけど…参加がない方やどうしても委員会ごとにその年によって人数が偏るなどということも出てきていますが…少しづつ出来る範囲で！無理な時には縮小や効率化を！他の委員会から手を借りたり、委員会の垣根をなくしたイベントにしたり、その年ごとの委員参加者がやれること、やりたいことに特化して…といった提案も出しつついい形を模索中です。



年間の PTA が関わる学校行事なども紹介しています！

[PTA 交流・新たな取り組みへ]

そしてこの数年、いろいろと PTA 活動を模索していく中でコロナもあり、PTA の各々の委員会活動も停滞していたこともあり…そもそも何が生徒たちは PTA にして欲しいのだろう？また PTA って生徒たちにはどれくらい活動の内容を知ってもらえているのだろう？ということから、もっと生徒の声聞きたい！と PTA・学校・生徒会で『座談会』を行うことを役員会などで提案してきました。それ

が昨年、やっと形になり『新羽しゃべり場』という名前で生徒会との交流の機会を得ることが叶いました。まずはいろいろなことをしゃべって！ということからPTAはPTAって何をしているか知ってる？というPTA活動の紹介とかって高校生だった時代の大人になって思うことなどを話しつつ…生徒からはまずは高校生活どんなことがしたい？どんな疑問や提案があるの？要望は？ということをごくばらんにおしゃべりしてもらいました。1時間程度の座談会一回では話さきれず、もう一回と昨年度は2回の開催を経て、その中でやっぱり大きいなど感じたのは、もっと高校生らしいイベントや行事がしたい！やってみたいことはあるけどどうしたら実現のために動けるのかわからない…という生徒たちのもどかしい思いでした。大人でさえ、日常に忙殺されてしまうと何かをやりだすきっかけ作りは難しいもの…PTAとしても委員会の垣根を越えて何か交流できることをやりたいという思いもあり、座談会に参加して下さっていた当時の松本前校長先生から『PTAとして堆肥作りに取り組むのはどうだろうか？』というお話をいただきました。うまく企画していけば生徒やPTAの交流にもつながり、SDGsにからめた学習ができたり、PTAと一緒にというサポートの中、イベント企画の演習にも繋がるのでは！ということでした。そこで今年度、まずはその堆肥作りのプロジェクトをPTA交流企画として立ち上げ、そしてそのプロジェクトの名称を生徒会主催で募集してもらうことにしました。その一方で、PTAも堆肥についてや、プロジェクトのアピールも行いました。



飛翔祭では模造紙ポスターを会議室前に掲示してPR！

当初の予定では、飛翔祭に名称決定が間に合う予定でしたが、夏休みあけて意外とすぐに飛翔祭ということで…そのための準備と同時進行での募集というのは生徒会には難しく、飛翔祭終了後、10月募集となってしまいました。なかなか思っていたことが計画通りには進まなくて失敗することもまた、経験！そこからどうやって繋げるか…これが大事なので現在も生徒会と進行状況や今後についてを共有・検討しながらやっています。実際の堆肥作りは落ち葉がいっぱいになる11月以降開始となりますが、無理なく進められる範囲でやっています。



校門脇に堆肥置き場を決定、近日中に囲い設置予定

[最後に]

PTAって何のため？一番大事なものはやっぱり『生徒のため』それも自分の子だけでなく、我が子を含めた『みんなのため』でもそれだけ…大義名分では続きません。やっぱり参加する保護者や先生方が辛かったり大変なばかりでは意味がありません。ちょっと大変だな～と思うときにはやることを絞ったり、縮小させたり、効率化を図って変えたり…逆にこれがしたい！やってあげたい！のこえがあれば柔軟にそこを中心な活動にしていくことも大事です。BEST！を求めると無理が生じやすいのでよりみんながBETTERな活動を心がけ、今後も楽しく生徒たちと笑い、学校とともに学びながら、保護者の皆さんとその時に合ったPTA活動を創っていきたいと思います。